

令和6年度教職員自己評価

	思う	だいたい	あまり	思わない	評価
①学習のめあてを明確に示し、児童が課題を見つけ、見通しを持って主体的に取り組めるように工夫した。	8	13	3	0	A
②協同的探究学習の手法を用いて、多様な考えを引き出し、それを伝え合って考えを深める場面をつくる工夫をした。	5	14	4	0	B
③児童の的確な実態把握に基づき、個に応じた学習指導の工夫で基礎的・基本的な知識・技能の習得を図った。	9	13	2	0	A
④個別の指導計画に基づき、学習支援が必要な児童への指導の充実を図った。	10	10	2	1	A
⑤各教科において「記録」「要約」「説明」「論述」などの言語活動を充実させ、「ことばの力」の育成に努めた。	2	17	5	0	B
⑥発達段階に応じた読書目標を設定したり、家庭や公立図書館と連携しながら、読書活動の充実に取り組んだ。	2	9	8	2	B
⑦児童がより良い人間関係を築き、安心して帰属できる学級づくりに努めた。	10	10	1	0	A
⑧自主的な態度を育む学級活動を推進し、豊かな人間関係育を育む学級・学校づくりに努めた。	8	12	1	0	B
⑨発達段階に応じて、いじめは人間として絶対に許されないという意識を醸成する指導を行い、心の通い合った学級づくりに努めた。	15	7	0	0	A
⑩生命の尊重を基盤に、児童一人一人に自己肯定感や自己有用感をもたせるとともに、互いに認め合う機会を日常的に作り、多様な他者との共生に向けた人権教育を実施した。	7	15	1	0	A
⑪道徳科の授業を年間35時間以上実施し、「考え、議論する」道徳を目指して取り組んだ。(専科は目指したかを書く)	6	12	5	0	B
⑫生活科や総合的な学習などに教科横断的な視点で取り組み、地域の特色を生かした体験活動を実施した。	7	10	3	1	A
⑬様々な教科・領域の中で自己肯定感を高め、将来の夢や目標が持てるキャリア教育の充実を図った。	5	13	4	0	B
⑭児童が体を動かす楽しさや心地よさを味わえるよう、体育科授業等の工夫を行った。	8	9	3	0	A
⑮栄養教諭と連携して給食等の機会をとらえた正しい食事のあり方などの食育指導を行った。	9	13	0	0	A
⑯養護教諭と連携し、いのちや健康を大切にする保健教育に取り組んだ。	10	11	1	0	A
⑰登下校指導、交通安全教室等を実施し、身近な生活における健康・安全について実践的に理解できるよう指導した。	11	10	1	0	A
⑱「なかよし学級」について児童に正しく理解させ、共に生きる心や思いやりのある心を育成した。	5	12	4	1	B
⑲様々な機会をとらえて特別支援教育についての理解を深め、障がいのある児童への適切な支援に努めた。	6	15	1	2	A
⑳ユニバーサルデザインの授業・教室を意識し、取り組むことができた。	7	10	6	0	A
㉑要支援児童の実態や児童・保護者のニーズを把握し、個別の指導計画に基づき適正な支援や就学指導を実施した。	9	12	1	0	A
㉒実践的な指導力を伸ばす、専門性を伸ばす、より高い力を身につける等キャリアステージに応じた個人の成長目標を設定し研鑽を積んだ	6	13	4	0	A
㉓研究テーマに沿って、校内研究が効果的に実施された。	6	16	2	0	A
㉔余剰時数の削減や生活適応推進委員会等会議の精選及び ICT の活用等による業務の効率化により、児童とかかわる時間の確保に努めた。	4	13	5	1	B
㉕各自が校務分掌を誠実に遂行し、OJT を活性化させ協働体制づくりに努めた。	6	11	5	0	B
㉖毎週木曜日又は個別に設定した定時退勤を守ることができた。	7	8	6	2	B
㉗自分の働き方について見直し、職務・校務の効率化を工夫して勤務時間の適正化を図った。	5	9	8	2	B
㉘学校内・登下校・緊急時の安全について、避難訓練を適切に行うなど日頃から危機管理に努め、安全・防災教育を推進した。	8	15	1	0	A
㉙「いじめ見逃しゼロ」をめざし、積極的にいじめを認知して、情報共有・組織的対応に努めた。	8	16	0	0	A
㉚日頃の観察、「アセス」「心の相談アンケート」等の各種アンケートや教育相談を効果的に活用して児童の実態把握を丁寧に行い、いじめの未然防止・早期発見と温かい人間関係作りを努めた。	9	12	1	0	A
㉛スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーとの連携協力等を行うなどいじめや不登校への適切な対応に努めた。	8	14	1	0	A
㉜児童一人一人の多様性を認め、担任との心の通い合った人間関係に基づく生徒指導を実施した。	6	16	1	0	A
㉝学校生活適応推進委員会やケース会議を通して、問題行動や生徒指導上の課題を全教職員が情報共有し、組織的に対応した。	15	6	3	0	A
㉞スクリーン、ホームページ等を活用して、地域や家庭に積極的に情報提供を行った。	9	13	1	0	A
㉟保護者との連絡を密にして信頼関係の構築に努めた。	8	13	1	0	A
㊱学校園ユニットやなかよし農園運営委員会、シニアクラブ等との連携を工夫したり、学校運営協議会の意見や学校関係者評価を活用したりすることができた。	6	10	5	0	A